

内町幼稚園のあり方に関する保護者との意見交換会の経過報告

1 内町幼稚園の現状

内町幼稚園は、敷地全体に地盤沈下が生じており、園舎も南側に傾いた状態となっています。（南側は北側に比べ75mm程度沈下）

こうした状況は、震災前から確認されていましたが、震災以降、さらに沈下したものと考えられます。

2 これまでの経緯

平成20年度に「いわき市学校施設耐震化推進計画」を策定し、これまで計画的に幼稚園舎や小中学校舎の耐震化を進めてきたところです。

内町幼稚園の園舎についても、 I_s 値（耐震性を示す値）の基準0.7を下回っている（0.45）ことから、これまで、既存園舎の耐震補強に向けた対応を検討してきたところではありますが、地盤沈下の程度から、既存のまま耐震補強を行うことは困難と考えられ、昨年10月、老朽化の度合いを判定する調査を実施し、その調査結果について県の確認を受けたところ、今年5月、老朽化による建替えが相当とされました。

建替え等のためには、地質改良工事等、抜本的な対策が必要となるため、工期とコストの点で課題がある状況です。

3 保護者との意見交換会の開催

(1) 意見交換の理由

傾斜の程度や老朽化による建替えが相当とされたことから、来年度以降、既存園舎は使用すべきではないものと考えられます。

また、少子化の進行や共働き世帯の増加などを背景に、市立幼稚園の園児数は減少しています。

内町幼稚園の園児数については、次のとおり、毎年減少している状況にあります。

○内町幼稚園（定員80人）の園児数の推移

	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度
園児数	65	60	45	38	31	27

こうした状況から、内町幼稚園の今後のあり方について、保護者の方との意見交換会を開催したところです。

(2) 意見交換会の開催結果

【第1回】平成27年9月7日（月）

① 市の説明

- ・来年度以降、この園舎は使用すべきではないと考えている。
- ・市としては、可能な限り集団教育が望ましいことから、高坂幼稚園などへの転園をお願いしたいと考えている。

② 保護者からの主な意見等

- ・送迎の問題、あるいは、慣れた環境で過ごさせたいとの理由から、近隣の内町小学校の教室、または、園庭にプレハブを設置しての実施はできないか？
- ・転園となった場合、送迎の対応はしてくれるのか？

【第2回】平成27年9月15日（火）

市の説明

- ・第1回意見交換会の際の保護者からの意見・要望を受けて、市の考え方を提示しました。

案1 転園を希望される場合 ⇒ 送迎バスを運行

案2 転園が難しい場合 ⇒ 内町小学校校舎内に教室を整備

- ・いずれも、現在通園している園児が卒園するまでの2年間の実施。
- ・保護者の間で検討いただき、総意によりどちらかを選択いただく。

4 保護者の検討結果

保護者の皆さんで話し合っていたいただいた結果は、他の幼稚園への転園というものでした。

なお、転園先については、次のとおり報告がありました。

合 計（ 男9名 女7名 合計16名 ）

転園先	宮幼稚園	磐崎幼稚園
人数	15人	1人
バス送迎希望者	13人	0人

5 今後の対応

今後、市としましては、転園に当たり、送迎バスの運行に向けた準備を進める予定です。

また、内町幼稚園については、平成28年度は休止とし、今後のあり方については、地区と協議を進める予定としております。